

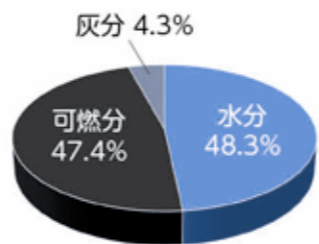
# みんなの「ひと工夫」で ごみは減らせる

生ごみ減量と古紙類の分別にご協力ください

伯耆町で1年間に排出される可燃ごみは約2400トンあり、その処理経費は1億2000万円にもなります(1トン当たり5万円)。可燃ごみを減らすことで、処理施設の集約が可能となり、ごみ処理経費の削減もできます。現在可燃ごみは、伯耆町清掃センター(福島)と南部町・伯耆町清掃施設組合クリーンセンター(南部町法勝寺)の2施設で焼却していますが、平成31年からは、南部町・伯耆町清掃施設組合クリーンセンター1か所で集約処理する予定です。

## 伯耆町の可燃ごみの状況

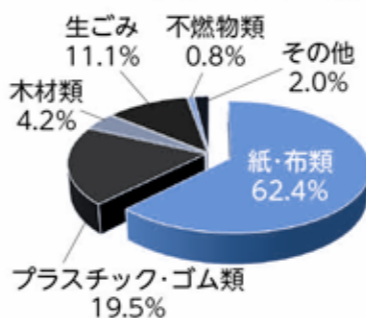
【可燃ごみ3成分の重量比】



**ポイント I**  
可燃ごみの重量のうち、約半分は水分で、主に生ごみから出ていると考えられています。

生ごみの水切りをすれば、ごみ減量化に効果的です。

【可燃ごみの組成】



**ポイント II**  
可燃ごみには、リサイクルできる紙類が多く含まれています。

古紙類の分別をすれば、ごみ減量化に効果的です。

可燃ごみ減量のポイント

生ごみの減量化と古紙類の分別

## I 生ごみの減量

### ① 水切りの徹底で減量化!

生ごみの約80%は水分といわれています。1世帯が、生ごみの水分を1日当たり約60グラム(卵1個分)減らすだけで、年間約80トン、処理経費にして400万円削減できます。

☆濡れた生ごみは「ぎゅっ」と絞ってから出しましょう。

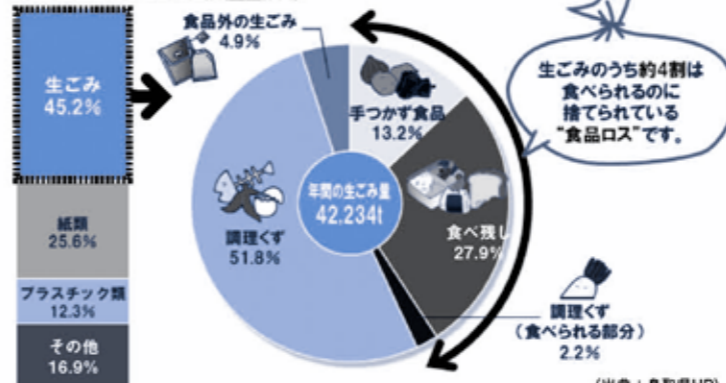
☆生ごみをシンクの外に置くなどして、濡らさないように出しましょう。

このほか、コンポストによる生ごみのたい肥化も効果的です。町が平成27年度に実施したモニター実験では、7割の人が「生ごみが減った」と回答しています。コンポスト購入費を45%補助する補助金もありますので、ご利用ください。

### ② 食品ロスを削減!

日本の食品ロス(食べ残しなど)は、年間約500〜800万トンもあり、コメの年間生産量に匹敵します。これは、1人が毎日おにぎりを約1〜2個捨てているのと同じ計算になります。鳥取県が平成27年度に行った調査では、可燃ごみ全体の約2割(生ごみの約4割)が食品ロスでした。

家庭から出されるごみの内訳(重量割合)



生ごみのうち約4割は食べられるのに捨てられている「食品ロス」です。

(出典：鳥取県HP)

## II 古紙類の分別

### ① ミックスペーパーの分別徹底

可燃ごみの中に、ティッシュ箱や菓子箱、封筒、カレールーなどの食品の紙箱は混ぜていませんか?

これらは、ミックスペーパーとして資源化できません。透明または半透明のビニール袋に入れて出してください。

### ② 古紙回収倉庫の活用

古紙類は、毎月1回の収集に加えて、町内4か所に設置している古紙回収倉庫で回収しています。

☆回収時間内であれば、いつでも利用できる無人の回収倉庫です。

☆回収料金は無料です。

町民であれば、どの地区の回収倉庫でも利用できます。「回収日に間に合わなかった」「溜まった古紙をすぐに処分したい」といった場合にもご利用ください。

#### ○古紙回収倉庫 設置場所

- ・役場本庁舎(吉長)
- ・溝口分庁舎(溝口)
- ・伯耆町清掃センター(福島)
- ・日光公民館(栃原)

#### ○回収時間

月～金曜日(年末年始、祝日を除く)  
9:00～16:00



## こんなことにも気をつけましょう

### ① 洗剤容器は可燃ごみ

「フタは不燃ごみ」

町ごみでいちばん多い分別の間違いは、洗剤容器(プラスチック)です。

洗剤容器は、洗剤などが取りきれなかったり、塩素を含んでいる場合があり、リサイクルに適さないため、**可燃ごみ**として出してください。

※フタは、**不燃ごみ**で出してください。

### ② 不法投棄、ポイ捨ては絶対にやめましょう

町内で、不法投棄、ポイ捨てが後を絶ちません。なかには、空き缶やペットボトルなど、資源としてリサイクルできるものが含まれていることもあります。

1人ひとりがマナーを守って、ごみのない町にしましょう。



※廃棄物を不法投棄すると、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、「5年以下の懲役」もしくは「1000万円以下の罰金(法人の場合は3億円以下の罰金)」、またはその両方が科されます。

問い合わせ先 地域整備課 TEL:0859-68-5539

